

店舗名：旧松本邸（西日本工業倶楽部）

産品名：レガシー



100余年の歴史薫る、国指定重要文化財

アールヌーヴォー様式の空間で、優美な会食を

森のなかに静かに佇む、クラシカルな洋館と日本館。足を踏み入れると街の喧騒は消え、アールヌーヴォー様式の曲線が実に美しい空間に引き込まれていく。タイムスリップか、映画のなかに入り込んでしまったのか、そんな感覚に包まれながら、華やかなりし明治の頃に想いを馳せる。

ここ「旧松本邸」は、明治時代に炭鉱業で財を成し「明治専門学校（現在の九州工業大学）」の創設者でもある実業家・松本健次郎が、かつて暮らしていた邸宅である。1912（明治45）年に完成した洋館の設計は、日本銀行本店、東京駅、大阪中央公会堂などの設計で名高い明治時代の名建築家・辰野金吾によるもの。日本館は、洋館の建築監督であった久保田小三郎氏が設計を手がけた。日本でアール・ヌーヴォー様式を導入した早い例であり、かつ最も本格的なものとして、洋館と日本館は、1972（昭和47）年、蔵2棟は1982（昭和57）年に、それぞれ国の重要文化財に指定されている。



↑アールヌーヴォー様式の美しい曲線に思わず見とれる洋館1階の食堂フロア。松本健次郎は当時ここで家族や来客とともに食事を楽しんだ。棚には、当時使用されていたオリジナルのエンブレムが入ったオリジナルの食器も飾られている

現在は、この「旧松本家住宅」を拠点に創設された「一般社団法人西日本工業倶楽部」によって維持・保存管理されており、毎年2回、春と秋にだけ一般公開を戸畑区役所が受け付けている。入館できるのは、事前申し込みを行い、抽選で選ばれた約1000人のみ。または、予約制のランチ、ディナーを利用した際に、館内で食事をし、見学を楽しむことも可能だ。



↑クラシカルなテーブルセッティングにも心躍る

ランチ、ディナーは、3日前までの予約制。当時も食堂として使われていた1階奥のフロアや、かつて松本健次郎の寝室であり、昭和天皇も宿泊された2階の個室など、利用人数に合わせた部屋で食事を楽しむことができる。



↑ゆっくりと火入れされたサーモンのコンフィに、柔らかな甘味のあるカブのブルーテ、旬の野菜が寄り添う

料理は、フランス料理または和食から選べ、いずれも専任の料理長によるフルコースを提供。フランス料理のランチは、6,210円（税サ込み）～、ディナーは8,694円～。基本はオードブル、スープ、魚料理、肉料理、デザートで構成され、北九州をはじめとした九州の食材をふんだんに使用する。内容は季節や仕入れにより異なるが、写真は、サーモンのコンフィや、タラ白子のブイヤベース仕立て、甘鯛とホタテのポアレ、国産黒毛和牛ランプのローストなど。素材の持ち味を生かした火入れや調理はもちろんのこと、フランス料理ならではの重厚感のあるソースや添えられたガロニチュールまでしっかりと仕上げられている。空間同様、細部まで行き届いた美味をゆったりと堪能したい。



↑フランス料理・ランチコースの一例

また、通常の会食以外にも、「ディナーと音楽の夕べ」「ビアガーデン」「クリスマスディナー」「忘新年会」など、イベントや催しものも季節ごとに開催。詳細は随時HPにて告知されているので、お見逃しなく。



↑洋館1階の中央にあたる広間。天井の造りやイタリアの大理石で造られた暖炉など、見所は随所に

松本健次郎は、安川財閥の創始者・安川敬一郎の二男として生まれ、1891（明治24）年に渡米し、ペンシルベニア大学に留学。帰国後、父と共に「安川松本商店」を創設し、父は炭鉱経営、健次郎はその販売と分担し親子二人三脚体制を築いた。1907（明治40）年には、技術者養成を目的として「明治専門学校」を戸畑に設立。この際の学校建築に携わったのが、かの有名な建築士・辰野金吾氏だった。

公的な建築に携わる氏がなぜ、一般の邸宅の建築を手がけたのか？それには、こんな話が残されている。

辰野金吾は、人材育成のために私設で学校を創設した安川敬一郎、松本健次郎に敬意を表し、明治専門学校を無償で設計した。しかし、「それではなんとも忍びない」ということで、自身の邸宅の設計を依頼したという経緯があるそうだ。



↑重厚な中央階段を上った際にある、2階の廊下部分。飾られたタペストリーやステンドグラスも美しい

洋館は、アールヌーヴォー調の極めて重厚、優美な趣があり、当時の家具、調度品、素晴らしい美術品の数々もそのままに残されている。留学経験もある、松本健次郎のモダンで洗練された生活を垣間ながら、ひとときの浪漫に浸りたい。



↑洋館2階にある、和と洋が見事に融合された大広間。窓の外には、まるで小さな森のような素晴らしい庭園が広がる

久保田小三郎氏が設計を手がけた日本館は、洋館とはまたガラリと異なり、和の情緒を湛えた数奇屋造り。純和風な造りながら、階段の手すりのアールや、照明など、ところどころに洋館・アールヌーヴォーの影響を感じられるのも興味深い。食事利用の方は、館内の見学が可能（部屋が使用されていない場合に限る）。ぜひ訪れて、歴史と浪漫が詰まった優美な世界に触れてほしい。



↑凛とした佇まいをみせる日本館もまた、心に残る



↑日本館1階の座敷。障子をあけると、見事な庭園が姿を表す



↑日本館1階の一室では、欄間彫刻で有名な相原雲楽（あいはらうんらく）が、雪月花をテーマに手がけた欄間も見ることができる。光が差すと暗闇に月と紅葉が浮かび上がり実に風流

#### DATA

旧松本邸（西日本工業倶楽部）

住所：福岡県北九州市戸畑区一枝1-4-33

電話：093-871-1031

予約受付時間：10：00～18：30（完全予約制）

休み：火曜

席数：最大120席

駐車場：40台（無料）

交通：車＝JR戸畑駅より約7分・北九州都市高速道路山路ランプより約10分

（取材日：2018年1月29日）